

OCHANOMIZU UNIVERSITY

OVERVIEW 2024



国立大学法人

お茶の水女子大学

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

TEL:03-5978-5105 FAX:03-5978-5545

<https://www.ocha.ac.jp>



お茶の水女子大学は
2025年に創立150周年を迎えます



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

目次

学長メッセージ	02
お茶の水女子大学のミッション・ビジョン	03
お茶の水女子大学の魅力	05
教育(学部)	07
教育(大学院)	08
研究	09
国際交流	11
数字でみるお茶の水女子大学	12
附属学校等	13
アクセス	14

お茶の水女子大学は、女性のための日本初の官立の高等教育機関として1875年に設立され、まもなく150年の歴史を刻もうとしています。その間、日本における女子教育の先達として道を切り拓き、数多くの卒業生が、学術・研究、教育、産業、行政、報道など、様々な領域で優れた実績を挙げ、国の内外で活躍しています。

2004年の国立大学法人化に際して、お茶の水女子大学では「お茶の水女子大学は学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションを掲げました。そして、世界中の全ての女性たちの夢の実現を支援することを目指し、学びたくても学ぶことのできない開発途上国の女性たちをも含めて、国籍や年齢を問わず女性たちの成長と資質能力の開発を支援する活動を開始して、現在に至っています。

大学はつねに社会とともにあり、社会の要請に応える姿勢が求められます。近年は今まで以上に、女性の社会的活躍が必要とされ、豊かな専門知識をもち、グローバルな視点からリーダーシップを発揮する女性が求められています。本学では、高度で先端的な研究を行うとともに男女共同参画社会の実現、グローバル化する社会で活躍する女性リーダーの育成に努めてまいりました。また、理工系分野における女性の活躍が求められる社会的要請に応じて、文理融合リベラルアーツ教育、AI・データサイエンス教育などにも力を入れています。

本学で学ぶ人たちには、本学の自由で一人ひとりの可能性を尊重する学風の中で高い専門的知識、一歩前に出る勇氣、そして他者とともに協働する力を身につけて、多くの先輩たちのように、自分の信じる道を力強く歩み、社会をけん引する人材に育っていただきたいと願っています。

お茶の水女子大学は、誰もがそれぞれの夢を実現し、豊かな未来を創造することができるよう、また、周囲の人々や社会に対して未来への希望と勇氣を呼び起こすことのできる活躍を続けていけるよう、教育・研究の向上と改革を図り、将来にわたって、特色ある高等教育機関としての役割を果たしてまいります。

国立大学法人お茶の水女子大学長

佐々木 泰子



お茶の水女子大学のミッション・ビジョン

学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する。

国立大学法人お茶の水女子大学は、すべての女性がその年齢・国籍等にかかわらず、個々人の尊厳と権利が保障され、自身の学びを深化させ、自己の資質能力の開発に主体的にチャレンジすることを支援しています。

1 女性が活躍できる 社会の実現

ダイバーシティインクルージョン実現のための社会貢献

- ・ジェンダー・イノベーション研究の推進
- ・社会人女性のためのリカレント教育を推進
- ・他大学のモデルとして、役職者の高い女性比率を維持

平和な社会の構築と文化の発展への貢献

- ・アジア・アフリカ等の途上国女子教育支援

2 総合知を持ち社会を革新する 人材の養成

教養知と専門知に実践知を結びつけた 総合知を備えた人材を養成

- ・総合知を獲得するためのコンピテンシーを育成
- ・附属学校園との協働を通じて総合知育成モデルを探求

工学知を持った女性リーダーの育成

- ・工学と人文学・社会科学の知を協働させた共創工学部を令和6年度に設置

お茶の水女子大学は、国立大学法人法に基づき、2004年度の法人化以降、6年ごとに中期目標・中期計画を立て、大学を運営しています。2022年度から、第4期中期目標期間（2022年度～2027年度）が始まりました。

第4期では①女性が活躍できる社会の実現、②総合知を持ち社会を革新する人材の養成、③持続可能な社会実現のための研究推進の3つをビジョンとして掲げ、「グローバル女性リーダーの育成」に努めます。

3 持続可能な社会実現のための 研究推進

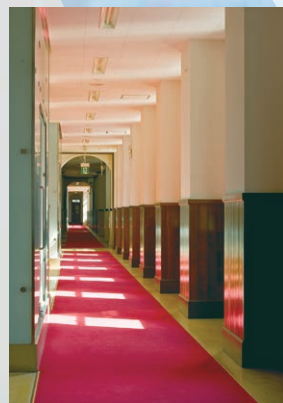
革新的な健康イノベーションの創出

- ・「こころ」「からだ」「食」の面から、企業・研究機関等と連携し、先端研究拠点を形成

SDGs教育・研究プログラムの推進

- ・民間企業等と協奏し食やジェンダーに関する社会実装型研究を推進
- ・SDGs達成のために行動できる人材の養成

2025
創立150周年



2004
国立大学法人化



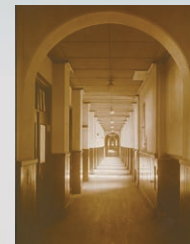
1976
大学院人間文化研究科
(博士課程)設置

教育研究活動等を支える基盤の整備

- 次代の大学経営人材の育成
- 財源の多元化による安定的な財務基盤の確立
- ミッション実現に向けた取組への予算等の重点配分
- 全学的な施設マネジメントの推進
- ステークホルダーへの積極的な情報発信
- 業務のデジタル化の推進



1875
東京女子師範学校
開校



1949
お茶の水女子大学設置



1963
大学院家政学研究科
(修士課程)設置

お茶の水女子大学の魅力



I guess I don't dislike anything or anyone in this library.

While supervising Nathan Straus, which quickly became a professional demonstration library in addition to its original function of service to young people, Scoggin led the library at John's University, served on local agencies, and served on various committees, and was consulted by the library, publishing, and youthwork groups. For her work with Nathan Straus she also pioneered in the field of library holdings for young adults and was a leading figure in the development of YA collections. The library's collection was moved to the location at the Donnell Library Center on 53rd Street in 1945, after an interview on New York.

高い就職力

女性の真摯な夢の実現の場として
アントレプレナーシップも涵養



女子大学初

日本の女子大学初
トランスジェンダー学生の受け入れ



SDGs

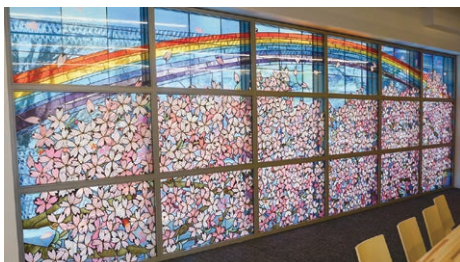
SDGsを核に、企業、地方自治体などと
連携して持続的価値を創造する

学生の留学比率 2位

国立大学

留学(受入・派遣)・海外と交わる
充実した各種奨学金制度

※「THE世界大学ランキング日本版2022」調べ



海外の

アジア・アフリカの
女性や幼児のための教育支援

女子教育支援機関と連携



科研費 1位

女性研究者
採択比率
国立大学

高度な研究力と豊富な研究資金
充実した女性研究者の研究活動支援

※ 令和5年度科学研究費助成事業の配分について(文部科学省)



都心アクセス良好、学生寮も充実

本学は、池袋駅や東京駅などにも近い都心に位置しています。2022年にはキャンパス内にも、お茶の水女子大学音羽館という新寮がオープンしました。他にも、小石川寮やお茶大SCC(Student Community Commons)などの学生寮もあります。



歴史と伝統に育まれた学びの拠点

キャンパスには全学部と大学院、各種研究センター等、あらゆる大学機能が集結し、附属ナースリー、幼稚園、小・中・高校、文京区立こども園が併設されています。



豊かな学びを実現する充実した環境

附属図書館は、本学の教育・研究機能を支える総合図書館として、学習図書や研究図書、電子ジャーナル、電子ブック、データベース、視聴覚資料のほか、ジェンダー研究や幼児教育関連資料など本学特有の貴重な資料群を提供しています。



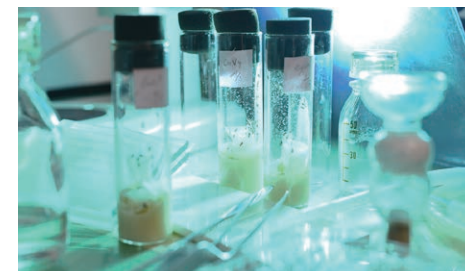
未来を担う女性を育む高度な教育

高度な教養と専門性を備えたグローバル女性リーダーを育成するとともに、ライフスタイルに即応した教育研究のあり方を開発・実践してきました。また、少人数制による教育課程も本学の魅力の一つです。



女性の立場に立ったサポート体制

キャンパスライフのさまざまな悩みに応え、心と体への深い理解に基づいて、心身両面からのサポートにも注力し、学生が快適な生活を送れるよう配慮しています。



明日を切り拓く斬新な研究

人文科学・人間社会科学・自然科学の分野を揃えた総合大学として、一貫して従来の学問領域を横断する新しい視点に立ち、社会が求める研究分野を開拓してきました。数多くの卒業生が多様な場所で社会を支えています。

教育 (学部)

知識・見識・寛容さを備えた女性を創出する独自の学部教育

学士課程では、創造性と実践性を備えた専門基礎力を持つ人材を育成しています。教養教育課程では、自然・人文・社会領域の総合的理解を深める「21世紀型文理融合リベラルアーツ」を、専門教育課程では学生主体の「複数プログラム選択履修制度」を導入し、これからの社会に必要とされる教養と専門性を備え、自主自立の精神に富んだ女性リーダーを育成しています。また、世界を舞台に活躍できる人材の育成にも力を入れています。

文教育学部	人文学科	生活科学部	食物栄養学科
	言語文化学科		人間・環境科学科
	人間社会科学科		人間生活学科
	芸術・表現行動学科		心理学科
理学部	数学科	共創工学部	人間環境工学科
	物理学科		文化情報工学科
	化学科		※令和6年(2024年)4月共創工学部新設 ※令和6年(2024年)度選抜以降、生活科学部人間・環境科学科は学生募集停止済
	生物学科		
	情報科学科		

新設学部「共創工学部」紹介

共創工学部は、データサイエンスを活用し、工学に人文学や社会科学を取り入れ、新しい未来の社会を共創する方法が実践的に学べます。工学の基礎から人間中心の環境、機能性材料など新技術を習得し、そこから社会の課題に共創し取り組む発想力や創造力を養う「人間環境工学科」、人間の文化と社会に関わる歴史、地理、思想、言語、文学、芸術などの諸分野の資料をデジタル化し、データサイエンスの手法を応用して解析、工学の思考と技術を用いて、文化や価値を考案・創造する「文化情報工学科」の2学科で構成されます。

教育 (大学院)

高い専門性と俯瞰的視野を育む大学院教育

大学院人間文化創成科学研究科は、高度な先端的・学際的な研究を行うために必要な創造的能力を養うため、文系・理系という専門領域を越えて新たな研究分野を積極的に開拓しています。また、設立以来、女性研究者の育成に力を注ぎ、数多くの優れた女性研究者を輩出してきました。

今後も、本学で学ぶ学生たちを俯瞰的視野と独創力を備え、広くグローバルに活躍するリーダーへと導くため、博士前期課程・後期課程の一貫した教育体制も視野に入れ、様々な教育・研究プロジェクトを取り入れた大学院教育を推進していきます。

大学院人間文化創成科学研究科

博士 前期課程	比較社会文化学専攻	博士 後期課程	比較社会文化学専攻
	人間発達科学専攻		人間発達科学専攻
	ジェンダー社会科学専攻		ジェンダー学際研究専攻
	ライフサイエンス専攻		ライフサイエンス専攻
	理学専攻		理学専攻
	生活工学共同専攻		生活工学共同専攻



■ 大学院人間文化創成科学研究科
<https://www.dc.ocha.ac.jp/>



■ 研究者情報
<https://researchers2.ao.ocha.ac.jp/>



従来の学問領域を越えた研究活動の場

お茶の水女子大学には10の研究所があります。ジェンダード・イノベーション研究所、コンピテンシー育成開発研究所、SDGs推進研究所は、2022年度に新設されました。

日本の持続的な発展を志向し、目指すべき社会を見据えつつ、研究により創出される価値を社会に積極的に発信しています。



ジェンダード・イノベーション研究所

ジェンダード・イノベーションとは、生物学的(セックス)及び文化・社会的(ジェンダー)な性差と他の属性等と交差する視点を考慮して研究を行うことでイノベーションを創出し、社会実装へつなげようという概念です。

本研究所は、「研究」による課題の可視化、「イノベーション」による研究成果を具現化したモノ(製品)やコト(サービス)の検討と創出、「社会発信」によるイノベーションの提供という3つの部門の活動から、多様な幸せ(Well-being)を実現できる社会の構築に寄与します。



文部科学省「情報ひろば」展示(2023年1月~2月)

コンピテンシー育成開発研究所

社会において高い成果をあげる人に観察される特性をコンピテンシーといいます。

本研究所は、コンピテンシー・ベースの教育と研究の推進に向けて、大きく分けて2つの活動を行っています。1つは、教学マネジメント組織として、本学学生のコンピテンシーの向上を図ること、もう1つは、研究機関として、幼児期から大学期までのコンピテンシーに関する研究と成果の発信を行うことです。これらの取り組みによって、本学のみならず、全国の他機関の教育改革に資することを目指します。



SDGs推進研究所

本研究所は生活科学・生活環境学・ジェンダーなどを研究テーマとする教員で組織され、食品ロスや食糧問題、資源のリサイクル、消費者教育などを中心に、生活者を起点とした持続可能な社会の実現を目指す研究を推進します。これらのテーマについて、大学や大学院で研究・教育するだけでなく、ナーサリーから幼小中高まで同一キャンパスにある本学の特色を生かし、幼少期から大学までのSDGs一貫教育プログラムの開発も目指しています。また、本研究所は本学のSDGs実践活動を統合する拠点として、他大学や企業、自治体等との連携調整を担う機関でもあり、共同研究やインターンシップなどを通してSDGs活動推進に貢献していきます。

特色ある取組として、大学と附属学校園によるフードドライブ活動のほか、OCHA-SDGs学生委員(研究所の学生組織)による勉強会や環境調査なども実施しています。



機構・研究所

グローバル女性リーダー育成研究機構

ヒューマンライフイノベーション開発研究機構

総合知開発研究機構

サステナブル社会実装機構

グローバルリーダーシップ研究所

ジェンダー研究所

ジェンダード・イノベーション研究所

ヒューマンライフサイエンス研究所

人間発達教育科学研究所

コンピテンシー育成開発研究所

理系女性育成開発研究所

サイエンス&エデュケーション研究所

SDGs推進研究所

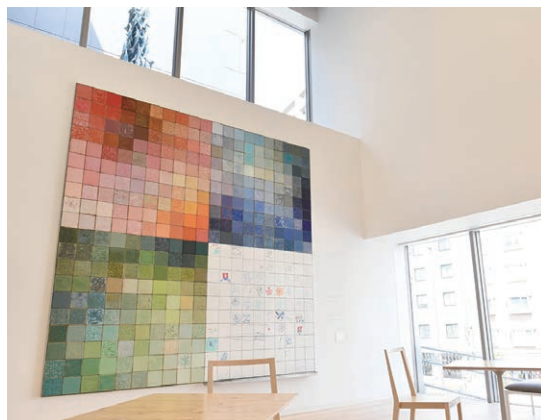
湾岸生物教育研究所

国際交流

世界の大学と協定を結び交流を深める

お茶の水女子大学では、交換留学制度、海外語学研修及び多くの海外派遣プログラムを提供し、協定校などへの海外派遣を支援しています。

大学間交流 協定大学 (33の国・地域、94大学) (2024年1月1日現在)



■ 大学間交流、協定大学の詳細
<https://www.ocha.ac.jp/intl/900/header-menu/partners/index.html>



数字でみるお茶の水女子大学

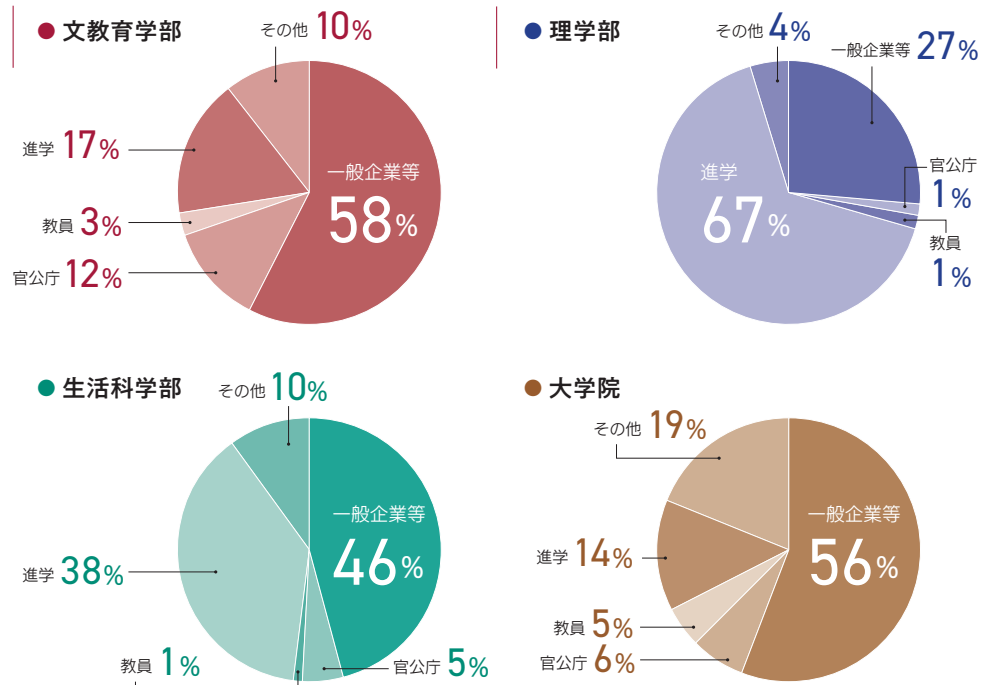
学生数 (2023年5月1日現在)



教職員数 (2023年5月1日現在)



就職率 (2022年度)



附属学校等

キャンパス内には、附属高等学校、中学校、小学校、幼稚園、ナーサリ、こども園が併設されています。



附属高等学校

附属高等学校は、1882年、東京女子師範学校附属高等女学校として創立されました。国立大学附属の中で唯一の女子高校、1学年3学級、全体で9学級あります。お茶の水女子大学に附属した高等学校であることの特徴を生かし、社会に有為な教養高い女子の育成に努めています。



附属中学校

学制改革により、1947年東京女子高等師範学校附属中学校として男女共学で発足しました。1学年一般学級3学級、帰国学級1学級で構成し、全体で12学級あります。『自主自律 広い視野』という教育目標のもと、充実した学習環境の中で、新しい教育の開発研究を行っています。



附属小学校

附属小学校は、1878年、東京女子師範学校附属練習小学校として開校しました。1学年3学級で、第4学年から帰国児童教育学級が加わり4学級となります。開校当初から『自主共同』を教育目標に、それぞれの時代における今日の課題に対応する教育課程の研究開発に取り組んでいます。



附属幼稚園

附属幼稚園は、1876年、東京女子師範学校附属として開園されました。日本で最初にできた官立幼稚園であり、2008年、園舎は登録有形文化財に登録されています。起伏に富んだ園庭、木のぬくもりに包まれる園舎等、豊かな環境に自らかかわる主体的な子どもの育成に努めています。



いずみナーサリ

いずみナーサリは日数選択制、随時入所、入所条件を満たす入所希望者全入といった特徴を有する6ヶ月～2歳児までの学内乳児保育施設です。子どもたちは大学内の自然にふれ、人、ものとの出会いを楽しみながら成長しています。また学生とのふれあいの場、学びの場、乳児保育研究の場でもあります。

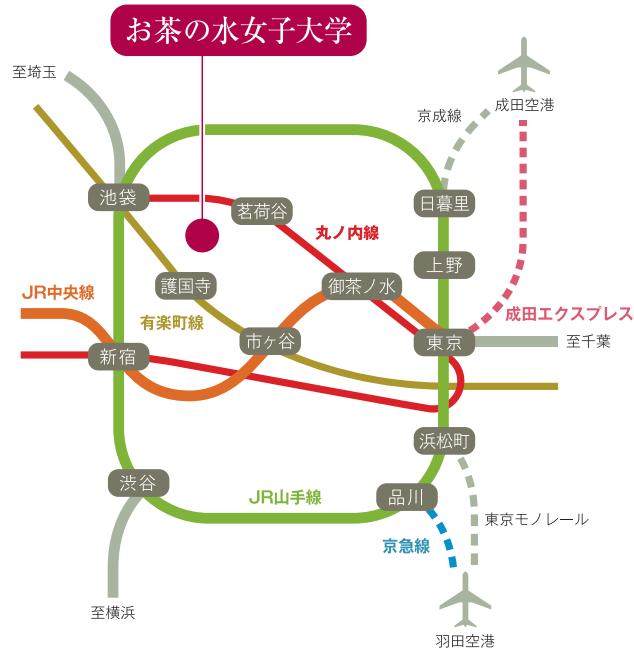


文京区立お茶の水女子大学こども園

東京都文京区から委託を受けて大学が運営を行っています。待機児童の解消と大学における教育研究活動の実践と成果の社会還元を目的とし、2016年4月に開園しました。遊び・人・家庭・地域・地球という5つのつながりを大切にし、認定こども園の在り方について実践を通して積極的に発信しています。

アクセス

ACCESS MAP



AREA MAP



- 茗荷谷駅(東京メトロ丸ノ内線)より徒歩7分
- 護国寺駅(東京メトロ有楽町線)5番口より徒歩8分
- 大塚二丁目停留所(都営バス)下車徒歩1分(都02系統、都02乙系統)